地域再生計画評価調査書(地方創生推進交付金事業効果検証調査書)

地域再生計画の名称	今治スタイル「移住力」強化事業	地域再生事業の名称	今治スタイル「移住力」強化事業	令和5年度評価
-----------	-----------------	-----------	-----------------	---------

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

評価指標	基準年数値	目標数値、実績値及び目標数値に対する達成度(上段は増加分、下段()内は総数)				達成度についての分析	
		目標	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)		最終年目標数値 2023年
目標1 ワンストップコンシェルジュ事業を通じた移住の実現	34人	目標	+16人 (50人)	+54人 (104人)	+55人 (159人)	+125人 (159人)	目標1から3については、新しい生活スタイルを求める都市部生活者からのニーズに対するプロモーション活動について、当初計画どおりに都市部での移住イベントが実施できたことなどで、インターネット上で情報発信等と併せた効率的、戦略的な移住相談への誘導体制が構築できた結果、移住者の増加につなげることができた。 しかしながら目標4については、空き家物件の掘り起こしにかかる周知活動等について、地域内外への十分な浸透ができなかったことから、目標数値を下回ることとなった。
		実績	+65人 (99人)	+77人 (176人)	+14人 (190人)	+156人 (190人)	
		達成度	406.3%	142.6%	25.5%	124.8%	
目標2 移住希望相談件数	234件	目標	+50件 (284件)	+67件 (351件)	+104件 (455件)	+221件 (455件)	
		実績	+40件 (274件)	+634件 (908件)	+235件 (1143件)	+909件 (1143件)	
		達成度	80.0%	946.3%	226.0%	411.3%	
目標3 ワーケーションの実践	80人・日	目標	+120人 (200人)	+320人 (520人)	+520人 (1040人)	+960人 (1040人)	
		実績	+1,162人 (1,242人)	+2,073人 (3,315人)	+1,142人 (4,457人)	+4,377人 (4,457人)	
		達成度	968.3%	647.8%	219.6%	455.9%	
目標4 空き家バンクを通じた物件情報掲載数	40軒	目標	+20軒 (60軒)	+27軒 (87軒)	+33軒 (120軒)	+80軒 (120軒)	
		実績	+25軒 (65軒)	+12軒 (77軒)	+2軒 (79軒)	+39軒 (79軒)	
		達成度	125.0%	44.4%	6.1%	48.8%	

評価年度において実施した事業

事業名	① 理想のワークライフバランス環境整備事業	総合戦略における位置づけ	基本目標:1. だれもがこの地で元気に働けるふるさとを創る(ウ)食品やエネルギー等地域産業とともに成長するまちづくり ② 地域産業の競争力強化	事業費	3,509千円
事業概要	<p>今治市が持つ「地域力」を活用し、ワークライフバランスに秀でたライフスタイルが実践できるまちとして整備を進めるなかで、地域住民との交流等を通じて、関係人口との関係性を促し、移住や定住へつなげる一連の循環の構築に向けた取り組みを推進、「いまばりワーケーション」モデルの定着、実施者の増加に向けた取組をおこなった。</p> <p>【ワーケーション推進支援事業】 ワーケーションを中心とした関係人口拡大取組について、観光、宿泊事業者などの体験提供者との協業により、今治市に最適化された都市部企業やファミリー層向けのワーケーションプログラムの実践にかかる支援・コーディネートをおこなった。</p>				
事業効果	<p>・ワーケーションをテーマとした関係人口と地域との新たな関係性構築を通じて、「住みたい田舎」への風土醸成が図られた。</p> <p>・本事業の推進を通じた地域事業者の参画増加に伴って、地域経済における新たな滞在消費マーケットが掘り起こされたほか、外部人材の誘引につながる自律的な人的ネットワーク基盤の整備など、定住者増につながる市民意識の高まりに寄与することを確認した。</p>				

事業名	② 移住・定住・関係人口の拡大推進事業	総合戦略における位置づけ	3. だれもが訪れたいと感じる魅力あふれるふるさとを創る (エ)「選ばれるまち」今治への移住・定住の促進と関係人口の拡大 ① 移住・定住支援策の充実	事業費	13,475千円
事業概要 職・住環境の提供に必要な手続きやさまざまな相談を1箇所ですべて済ませることができる体制を実践し、移住者へのヒアリング調査を分析し移住プロモーションコンセプトを確立することで新たな移住関係人口の拡大に向けた取り組みを行った。 【関係人口拡大に向けた広報戦略事業】 ターゲット層を絞ったPR動画を作成し、本市の持つ良さを的確に情報発信を行うことで、今治市の認知度を向上させ関係人口を拡大させることができた。 【ワンストップコンシェルジュ確立事業】 移住相談マニュアルを参照しながら移住相談を実施する相談員が、今治市の住民サービスを可視化でき、サービスを案内する際に役立つツールを作成することで移住から定住までのきめ細やかなサポートをする体制が整い、移住・定住支援策の充実が図られた。					
事業効果 関係性の深い移住人口の戦略的な獲得に向けた情報発信を的確にすることができ、移住から定住までのきめ細やかな相談体制が確立された。					
事業名	③ 空き家等の市場化促進事業	総合戦略における位置づけ	3. だれもが訪れたいと感じる魅力あふれるふるさとを創る (エ)「選ばれるまち」今治への移住・定住の促進と関係人口の拡大 ① 移住・定住支援策の充実	事業費	3,044千円
事業概要 移住希望者の視点に立つて、空き家が良好な状態のうちに速やかに移住希望者に情報提供できる仕組みづくりを深化させ、宅地建物取引業者等の積極的な関与を促し、それらの情報を適切かつ迅速に移住希望者に提供できる仕組みを確立した。 【空き家市場化コーディネート体制推進事業】 ・空き家ストックを良質な状態で速やかに不動産市場に供給することを目的に、土地、建物に関する知見や豊富な人生経験に裏打ちされる折衝力を持つシルバー人材センター会員人材を活用し、空き家所有者との相談や物件調査業務を行い、空き家バンクへの登録を円滑に実施できた。 【空き家データベース高度化推進事業】 ・空き家情報の問い合わせ、関心の多い状況にある中、「空き家バンクシステム」を運用することで、ウェブブラウザ上で安全かつ効率的に空き家情報の閲覧や登録、検索、マッチング等が可能となり、空き家ストックの市場化を円滑にすすめることができた。					
事業効果 ・空き家ストックの市場活性化に向けて、空き家バンクシステムの整備を通じてデジタル面での運用基盤が確立し、インターネットを通じた情報発信に向けた取り組みや効果的な情報発信体制が整備された。 ・空き家調査等の公的関与を通じて、空き家ストック情報の効果的な収集が図れる環境が確立できた。また、当該業務をシルバー人材センターを通じ高齢者層が担ったことで、年々不足する地域における担い手人材活用がなされた。					
評価及びそれを受けての市の方針					
外部有識者による評価 ☒ 総合戦略のKPI達成に有効であった ☐ 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない (主な意見) ・デュアルスクールと連携することで移住やワーケーションの推進につなげてほしい。		議会からの意見 特段の指摘なく了承された。		今後の方針、改善点など 高度に整理、分析することが可能となる移住相談記録システムを積極的に活用した、移住コーディネータによる相談受付によるきめ細やかな移住定住のサービスの向上に努める。 また、都市部住民に対する移住促進にかかるプロモーション活動については、インターネットの特性を活用したコンテンツ配信からの都市部移住イベント参加と移住相談への積極的誘導を図ることで、効果的かつ効率的な取組に深化させる。 これらの取り組みにより、移住の想起から実践行動へと変容させるために必要となる効果的な情報提供・提案体制の充実をはかる。	